

駅スペース活用事業(小売・飲食業)

1日1,650万人のお客さまが移動し交流する「駅」は、JR東日本グループの最大の経営資源です。この「駅」を利用されるお客さまに便利で快適なサービスを提供するため、小売、飲食などさまざまな店舗を営業しています。また、お客さまの多様なニーズにお応えするため、駅構内の新規開発や新業態店舗の展開に積極的に取り組んでいます。

ステーションルネッサンスの推進

駅の可能性を100%引き出すとともにお客さまの利便性の向上をめざした21世紀の新しい駅づくり「ステーションルネッサンス」を実現します。具体的には、バリアフリー設備(エスカレーター、エレベーターなど)やコンコース拡幅、案内サイン

改良等の駅設備改良工事にあわせ、各駅における最適な事業配置をゼロから構築、既存設備の徹底的な見直しにより、新たな事業スペースを創出しつつ、地域に密着した駅づくりなど、「駅を変える」ためのさまざまな取組みを進めています。

ステーションルネッサンス

ステーションルネッサンスによる大規模開発の第1号が上野駅です。1932年完成の駅舎をお客さまの視点で全面的に見直し、歴史的な建造物は残しながら、快適で利用しやすい駅づくりを行います。

2005年3月に開業したecute(エキュート)大宮は、「駅構内開発小売業」という新たなビジネスモデルで、新たな価値創造と徹底した顧客志向の深度化をはかりました。

駅名	店舗面積	開業日	開発概要
上野	5,900m ² (アトレ上野分)	2002.2.22	(1) 人にやさしい駅づくりと駅の魅力向上 ①エレベーター9基(1基改修)、エスカレーター24基設置 ②当社初の「ベビー休憩室(授乳室)」を設置 ③トイレの改修、多機能トイレの新設、女性用パウダールームの新設 ④インフォメーションセンターの新設 ⑤中央改札前の大空間「グランドコンコース」を整備 (2) 情報発信スペース「Break」の設置 駅および駅周辺を案内する「ステーションコンシェルジュ」を設置 (3) 「Breakステーションギャラリー」新設と芸術作品の再配置 ①東京芸術大学の協力のもとで美術展を開催 ②平山郁夫画伯作の芸術作品を中央改札付近に集約 (4) 54店舗からなるショップストリート「アトレ上野」を展開
大宮	4,900m ² (2,300m ² エキュート大宮分、 2,600m ² ルミネ大宮増床分)	2005.3.5	(1) 駅構内開発小売業の展開 ①鉄道施設を含めた駅的环境計画から商業施設のMD、取引先選定、売場マネジメント、販売促進を一貫して行う新しいビジネスモデルを展開 ②エキナカにマッチした新ブランド、新業態28店を含む68店舗(開業時)を導入 ③Suica決済の導入と統一システムによる営業データ収集 ④清掃等のメンテナンスの一元的管理 (2) 「わかりやすく、利用しやすい」駅空間づくり ①すべてのホームにエスカレーター、エレベーターの設置 ②案内サインの整備、改札口周りのデザイン統一化 ③トイレ増設および、多機能トイレ・女性用パウダールームの新設 (3) ルミネ大宮の増床、リニューアルの実施 ファッション性、専門性を重視した、幅広い業種で提案性の高いショップを新たに導入
西船橋	2,130m ²	2005.3.25	(1) 線路上空に人工地盤を建設、武蔵野線乗換コンコースの新設によりゆとりある快適な移動空間を創出 (2) エレベーター5基、エスカレーター(上下)12基を増設 (3) 多機能トイレを駅改札内に新設、心地よい快適で清潔な環境を整備 (4) ショッピングセンター的な運営手法を導入した商業施設「Dila西船橋」を展開(22店舗)
品川	1,600m ² (エキュート品川分)	2005.10.1	(1) 線路上空に人工地盤(3層)を新設し、新幹線および在来線の乗換アクセス向上のためのコンコース整備ならびに店舗スペースを拡大 (2) 明るい駅空間の提供 ①トイレの増開設 ②連絡通路のリニューアル (3) 「エキュート品川」を展開(46店舗)
大船	1,585m ² (1,390m ² Dila大船分、 195m ² ルミネ大船増床分)	2006.2.2	(1) お客さまの利便性向上のため、北口に改札口を新設、あわせて南北改札を結び連絡通路を新設 (2) すべてのホームにエスカレーター、エレベーターを設置。また、多機能トイレも駅改札内に新設 (3) ショッピングセンター的な運営手法を導入した商業施設「Dila大船」を展開(26店舗) (4) ルミネ大船の増床(11店舗)
拜島	660m ²	2007.8.24	(1) 南北自由通路の新設にあわせ駅舎の橋上化 ①各ホームにエスカレーター(計6基)、エレベーター(計3基)の設置 (2) 混雑緩和のための改札内コンコース通路幅の拡幅 ③わかりやすい案内サインの整備、多機能トイレの設置 (2) 「Dila拜島」の展開(8店舗)
立川	4,300m ² (エキュート立川分)	2007.10.5	(1) 「わかりやすく利用しやすい駅」づくり、「地域の皆さまに親しまれる駅空間」づくり ①線路上空に人工地盤(3層)を新設し、ゆとりある空間を創出 ②新コンコースへのエスカレーター(6基)の整備 ③お客さま用トイレ(1カ所)、多機能トイレ(1カ所)の増設、 女性用パウダールームの設置(1カ所) ④新しい「びゅうプラザ」の整備 (2) 「エキュート立川」の展開(94店舗) 駅直結型の「保育施設」「ベビー休憩室」の展開 (3) ホテルメッツ立川の展開
三鷹	1,380m ² (Dila三鷹分)	2007.12.16	(1) 人工地盤(2層)を新設し、各ホームにエレベーター1基(計3基)、エスカレーター各2基(計6基)を設置 (2) 駅案内サインの整備などにより、お客さまにわかりやすく使いやすい駅づくり、店舗部分とあわせて明るく開放感のある空間の創出 (3) 「Dila三鷹」の展開(26店舗) (4) 駅設備改良・みどりの窓口・びゅうプラザの改良
田端	1,760m ²	2008.7.30	(1) バリアフリー設備の整備 エスカレーター4基、エレベーター2基 (2) トイレ改修 (3) アトレヴィ田端の展開(13店舗) (4) エキナカ店舗の展開(4店舗)
巣鴨	1,910m ²	2010.3.25	(1) 分散配置されている駅業務施設を一部新設人工地盤上に2層構造として集約し、コンコースの美化により駅イメージを改良 (2) 旅客トイレ改修、サイン整備などにより、お客さまにわかりやすい駅づくり (3) アトレヴィ巣鴨(22店舗)、構内営業店舗(3店舗)の展開

● 「Dila」「ecute」の展開

駅の魅力向上とさらなる高収益化をめざし、駅をご利用になられるお客さまのニーズや駅の立地にあわせて「Dila」や「ecute」等のブランドで、エキナカ商業施設を展開しています。

●Dila

(2012年4月1日現在)

名称	店舗数	開業日	備考
Dila上野	5	3F改札外 2001.12.7 1F 2002.3.14	コンビニ、そば、中華、アイリッシュパブなど
Dila海浜幕張	4	2001.10.23	ハンバーガー、そば、中華、カツ丼など
Dila仙台	17	2001.12.1	コンビニ、スイーツ、喫茶、リラクゼーションなど
Dila津田沼	20	2002.11.1	コンビニ、スイーツ、喫茶、ベーカリー、そば・うどん、惣菜など
Dila大崎	8	2002.12.1	コンビニ、そば、喫茶など
Dila阿佐ヶ谷	16	2003.5.2	コンビニ、スイーツ、喫茶、ベーカリー、惣菜など
Dila西荻窪	7	2003.11.30	コンビニ、スイーツ、ベーカリー、惣菜など
Dila蘇我	5	2004.8.29	コンビニ、ハンバーガー、雑貨など
Dila西船橋	28	2005.3.25	コンビニ、スイーツ、喫茶、書店、雑貨、リラクゼーションなど
Dila大宮	16	2005.11.1	コンビニ、スイーツ、そば、喫茶、雑貨、土産など
Dila大船	30	2006.2.2	コンビニ、うどん・そば、スイーツ、喫茶、書店、惣菜など
Dila高円寺	5	2006.3.15	コンビニ、喫茶、ベーカリーなど
Dila拜島	8	2007.8.24	コンビニ、スイーツ、書店、ドラッグストアなど
Dila三鷹	29	2007.12.16	コンビニ、スイーツ、ベーカリー、中華、惣菜、リラクゼーションなど

注)：店舗数には、宝くじ含む。ATM除く。

●ecute

(2012年4月1日現在)

名称	店舗面積	開業日	業種構成
ecute大宮	約2,300m ²	2005.3.5	惣菜、和洋菓子、雑貨、飲食、サービスなど(77ショップ)
ecute品川	約1,600m ²	2005.10.1	惣菜、和洋菓子、雑貨、飲食、サービスなど(47ショップ)
ecute立川	約4,300m ²	2007.10.5	惣菜、和洋菓子、雑貨、飲食、サービス、保育園、複合クリニックなど(88ショップ)
ecute日暮里	約380m ²	2009.6.20	惣菜、和洋菓子、雑貨、飲食など(17ショップ)
ecute東京	約1,300m ²	2010.3.28	惣菜、和洋菓子、雑貨、飲食など(27ショップ)
ecute上野	約4,800m ²	2011.3.31	惣菜、和洋菓子、雑貨、飲食、サービスなど(81ショップ)
ecute品川 South	約1,800m ²	2011.5.16	惣菜、和洋菓子、雑貨、飲食など(38ショップ)
ecute赤羽	約2,000m ²	2011.9.23	惣菜、和洋菓子、雑貨、飲食、アパレルなど(55ショップ)



ecute大宮

※イベントショップ除く

● 今後の開発予定駅

日暮里、柏、川崎、船橋、熱海など

● 主要店舗一覧

(2012年4月1日現在)

業種	店舗名	店舗数	運営会社	店舗概要
小売	KIOSK	438	(株)JR東日本リテールネット等	駅でおなじみの売店
	NEWDAYS	468		JR東日本グループが展開するコンビニエンスストア
	ブックエクスプレス	26		新刊やビジネス書をはじめ、立地条件やお客さまのニーズに合わせたエキナカ書店
飲食	あじさい茶屋	29	(株)日本レストランエンタプライズ	自社工場で製造されたオリジナル麺・汁を使用した駅そば店
	駅弁屋旨団門	4		地方各地の名物駅弁を取り揃えた駅弁専門店
	ベックスコーヒーショップ	74	ジェイアール東日本フードビジネス(株)等	香り高いコーヒーとこだわりの手作りサンドイッチでおもてなしする「駅カフェ」
	ベッカーズ	24		バラエティ豊かなこだわりのハンバーガーを提供するハンバーガーレストランチェーン
	ほんのり屋	11		こだわりの米、海苔、塩、具材を使用した「おむすび」専門店
	ハニーズバー	25	はちみつやフルーツを使ったフレッシュジューススタンド	
サービス	QBハウス	19	(株)JR東日本リテールネット	駅の需要に合わせたクイック対応のヘアカット専門店

※(株)JR東日本リテールネットは、2007年7月1日に東日本キヨスク(株)より社名変更

● 主要駅における駅構内店舗数

(2012年4月1日現在)

駅名	小売店舗	飲食店舗	その他店舗	合計
東京	80	7	8	95
新宿	43	7	10	60
上野	39	14	9	62
大宮	42	12	8	62
仙台	69	29	11	109

※自販機、ロッカー除く

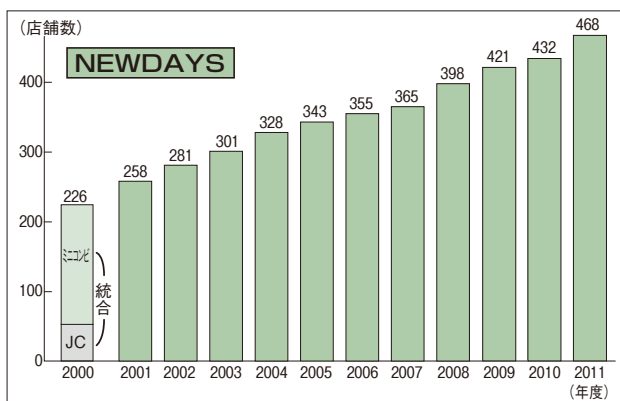
※その他店舗…QBハウス、ミスターミニット、ビューアルッテ等

● コンビニエンスストア事業の展開

2001年10月にグループ内に分散していたコンビニエンスストア事業の統合・再編を行い、駅のコンビニエンスストア「NEWDAYS」が誕生しました。Suica専用セルフレジの積極的導入により、駅を利用するお客さまに今までのコンビニにはない

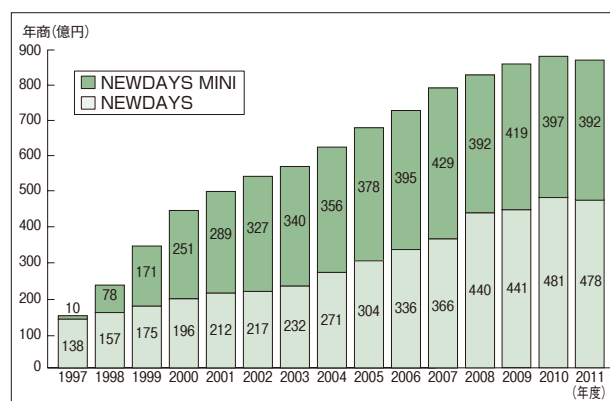
利便性を提供するとともに、コンビニエンスストア事業の再編により強化された(株)JR東日本リテールネットの商品調達力や店舗開発力を発揮して、よりお客さまに喜ばれる店づくりをめざして競争力の強化に取り組んでいます。

● 店舗数の推移



※(株)JR東日本リテールネット運営店舗のみ

● NEWDAYSの売上推移



※(株)JR東日本リテールネット運営店舗のみ

● 飲食業の再編

飲食業については、市中外食産業との競争を念頭に「選択と集中」の観点からJR東日本グループが注力する分野を明確にしたうえで、飲食業関連グループ会社の再編成を推進してきました。具体的には、2005年10月に東日本キヨスク(株)(現(株)JR東日本リテールネット)の100%出資子会社である(株)東京ターミナル・フードをジェイアール東日本フードビジネス(株)に合併し、ベーカリー事業の再編成を行いました。また、(株)鉄道会館の100%出資子会社で、駅構内をはじめグループ駅ビル内、市中

でのレストラン事業を展開していた東京アール・ビー商事(株)を2006年4月から社名を(株)デリシャスリンクと改め、連結子会社化しました。さらに2011年10月、より魅力的なフードサービスの提供と飲食事業会社の体制強化を目的とし、(株)デリシャスリンクを(株)日本レストランエンタプライズへ統合しています。今後も引き続き、飲食事業の強化をはかることで、駅を中心としたお客さまへの魅力あるサービスの提供に努めます。

● 飲料事業の展開

(株)JR東日本ウォータービジネスは、グループ向け清涼飲料の卸売事業、エキナカを中心とする飲料自販機事業、谷川連峰の湧水を活用したオリジナル商品開発事業に取り組んでいます。飲料自販機事業では「自販機イノベーション」を掲げ、さまざまなメーカーの商品を取り揃えた自販機のブランドミックス機化や、Suica対応機化を進め、売上の向上に努めています。また、デジタルサイネージを搭載した次世代自販機を開発、2012年度を目処に500台の設置をめざしています。2009年からは自販機のPOSデータを取得できるSuica決済端末(VT-10)を導入、自販機ネットワークを形成し、マーケティング情報の収集・分析を始めました。得られたデータから仮説検証を繰り返し、商品開発

や自販機のラインナップへと活かす取組みを行っています。2012年3月には、データ分析と消費者調査を基にオリジナル商品である「FROM AQUA(フロムアクア)」の大幅リニューアルを行いました。フロムアクアではお客さまのニーズを把握して“落ちないキャップ”のペットボトルを国内では初めて採用しています。この他にも、各地の優れた果物を使用した地産飲料を、地元飲料メーカーと共同開発して、それを首都圏で販売することなどにより、地域の活性化にも取り組んでいます。常にお客さまの視点に立ち、新しい価値の提供、ならびにJR東日本グループ飲料事業のさらなる成長に努めています。

● グループ外企業のノウハウの活用

構内営業店舗は原則としてグループ会社が営業していますが、多様化するお客さまのニーズへの対応と、グループ会社によ

るノウハウの吸収を目的として、グループ外企業と連携した店舗展開も行っています。

● JR東日本による業務提携

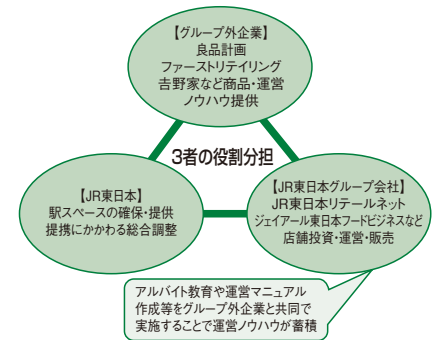
JR東日本を含めた業務提携は、JR東日本が駅スペースを提供し、提携企業と共同で業態、商品、メニュー等を開発することで駅立地に適した事業を生み出す取組みです。当初はブランド力のある企業のノウハウの導入をはかってきましたが、近

年、「さぬきうどんNRE&めりけんや」のように未確立のブランドを導入して流行の発信地となったり、JR東日本グループのノウハウを既存の業態に活用するケースも出てくるなど、業務提携の形態も多様化しています。

(2012年4月1日現在)

店舗名	会社	店舗数	営業開始	概要
無印良品 com KIOSK など	JR東日本、JR東日本リテールネット、良品計画	9店舗 (大宮、三鷹、池袋、秋葉原など)	1999.10	無印良品ブランドを服飾雑貨や旅行商品等約700に絞り込んで販売
ユニクロ	JR東日本、JR東日本リテールネット、ファーストリテイリング	17店舗 (東京、新宿、上野など)	2000.10	シーズンごとのキャンペーン商品を中心に販売
駅の牛丼 吉野家JEFB	JR東日本、ジェイアール東日本フードビジネス、吉野家	2店舗 (赤羽、木更津)	2001.3	販売メニューを絞り込むなど、よりクイックなサービスを提供
さぬきうどん NRE&めりけんや	JR東日本、NRE、JR四国、めりけんや	5店舗 (恵比寿、上野、新橋など)	2002.8	美味しくヘルシーなさぬきうどんを駅構内に導入し、プームの火付け役となった

● 事業スキーム図



● グループ会社による業態開発・商品開発の取組み例

グループ会社ではこれまで蓄積したノウハウを活用し、積極的に業態開発、商品開発を行っており、その数も年々増えつつあります。

(2012年4月1日現在)

● 業態開発

店舗名	会社	店舗数	営業開始	概要
親父の製麺所	日本レストランエンタプライズ	4店舗 (浜松町、大崎、田端など)	2010.3	本場香川から直送の麺を使用したNREオリジナルさぬきうどん店
Tokyo Food Bar		2店舗 (秋葉原、成田空港)	2010.4	「スマートスタイル」をコンセプトとしたフードコート&カフェ
駅弁屋旨田門		4店舗 (東京、仙台、大宮など)	2004.8	地方各地の名物駅弁を取り揃えた駅弁専門店
博多らーめん四神		3店舗 (亀戸、金町、TX守谷)	2011.9	早い、旨い、安いを追求するエキナカの本格博多ラーメン店
プレミィ・コロミィ	JR東日本リテールネット	12店舗 (東京、新橋、上野、恵比寿など)	2007.6	働く女性のONとOFFをサポートするナチュラルライフショップ
ドリップマニア	ジェイアール東日本フードビジネス	4店舗 (東京、横浜など)	2007.10	ハンドドリップで一杯ずつ丁寧に淹れるコーヒーショップ
ハニーズバー		25店舗 (東京、新宿、池袋、渋谷など)	2007.7	はちみつやフルーツ、野菜、ミルクなどをベースにしたジュースを提供するジューススタンド

(2012年4月1日現在)

● 商品開発

商品名	会社	発売開始	概要
純米大吟醸酒「大人の休日」	ジェイアール東日本商事	2002.4	銘酒「久保田」を手掛ける朝日酒造とのタイアップによる限定製造の純米大吟醸酒
東京弁当	日本レストランエンタプライズ	2002.10	東京の老舗の味を詰め込んだ日本を代表するこだわりの駅弁
極附(きわめつき)弁当	日本レストランエンタプライズ	2003.10	日本各地の自然、旬のこだわり食材を使用し、調理方法も伝統の技を活かすなど究極の駅弁をめざした駅弁
エクスプレスロール	JR東日本ステーションリテイリング	2005.10	ナチュラル・スウィーツメーカー「QBG」と「高木康政」シェフとのタイアップが実現した、長さ約45cmのロールケーキ
Panest	JR東日本リテールネット	2006.7	“最上級のパン(Pan+est)”を“そんな想いを込めたオリジナルの菓子パンシリーズ
朝の茶事	JR東日本ウォータービジネス	2007.5	JR東日本グループがもつエキナカのデータと、伊藤園がもつ技術を活かして共同開発した緑茶
FROM AQUA	JR東日本ウォータービジネス	2007.7	谷川岳直下の上越新幹線のトンネル内で取水される天然水を活用したミネラルウォーター
Eki Rich	JR東日本リテールネット	2009.11	いつものエキでリッチなデザートを提供する新ブランド